

TOKYO MIDTOWN STYLE

東京ミッドタウンスタイル

7つのキーワードから読み解く

2018年トレンド予測

想いを込めてあの人へ

厳選冬の贈りもの

VOL.

36

WINTER 2017

Shop Data
 THE COVER NIPPON
 ジカパー・ニッポン
 ガレリア3F
 ☎03-5413-0658
 11:00～21:00

Photo: Hironobu Maeda (STIJL)
 Styling: Mafumi Shimada

小林漆器(小林正和 作)の津軽塗。
 左から、くつわ型弁当 唐塗 赤上(幅
 140×高80×奥行90mm) 54,000円・
 二段重箱 変り塗(幅160×高80×
 奥行160mm) 108,000円・手提げ
 弁当 赤(幅200×高230※手持ち
 含む×奥行185mm) 162,000円/
 THE COVER NIPPON

と賞され、堅牢かつ豪華な塗物として広く知られている。

津軽塗には、複雑な斑点模様
 の唐塗、錦を思わせる豪華絢爛な錦塗、小さな輪紋が特徴の七々子塗、黒漆の紋様が浮き出る紋紗塗という代表的な四技法があり、そのどれもが、手に取ると不思議と心落ち着く魅力を持つ。THE COVER NIPPONでは、お椀や一人用のお重など種類も豊富に揃う。晴れの日だけでなく、日用品としてもぜひ愛用してみたい。

藩政時代からの格調高い街並みと数多くの歴史的文化遗产が残る、津軽十萬石の城下町、弘前。この風土で培われ、300年以上の歴史を経て今日まで継承されてきた“津軽塗”は、きめが細かくゆがみが少ない高級木材・青森ヒバの素地に、劣化に強く艶が失われにくい東北の漆を塗ったもの。漆を数十回塗り重ね、研磨仕上げを施すという非常に長い工程を経て生まれる紋様は、底から発するような奥行きと、器にへばりついたような力強さがある

津軽漆器

艶と紋様に

魅せられて

TOKYO MIDTOWN
STYLE

上質な日常を過ごすための
 ライフスタイルマガジン

Winter 2017 / Vol.36

CONTENTS

2 造り手カルネ
 THE COVER NIPPON

4 7つのキーワードから読み解く

2018年トレンド予測

各ジャンルのエキスパートにインタビュー

14 ここでしか味わえない極上のコーヒータイムを!
 STARBUCKS
 RESERVE® BARの楽しみ方

16 想いを込めてあの人へ
 厳選冬の贈りもの

21 年末年始を華やかに
 東京ミッドタウン 冬のイベント
 TOKYO MIDTOWN
 WINTER TOPICS

22 ART in TOKYO MIDTOWN
 [生駒芳子が誘う今見たいアート]
 野生展:
 飼いならされない感覚と思考

23 DESIGN in TOKYO MIDTOWN
 [黒田美津子が出合った注目のデザイン]
 冬の暮らしに添えたい
 ナチュラルカラーのアイテム

24 Essay by Robert Campbell
 [ロバート キャンベルの連載エッセイ]
 零れもの三昧

25 Access to TOKYO MIDTOWN

※記載の金額はすべて税込価格です。また、価格は諸般の事情により変更となる場合があります。

各ジャンルの
エキスパートに
インタビュー

7つのキーワードから読み解く 2018年トレンド予測

2018年の幕開けまで、そろそろカウントダウンの時期。そこで、各分野の専門の方々に来年のトレンドについてインタビュー。ライフスタイル、ファッション、グルメ、デザイン、アート、本、音楽……あなたの気になる分野をさっそくチェック!

Photos: Shin Kimura (p6-7, 18 book), Yuki Uehara (portrait p5, 8, 12, 13) Styling: Yumi Ito (p6-7) Text: Arata Sakai (p6, 10-12), Mika Kitamura (p8), Risa Izawa (p13)

あ とわずかで幕開けする2018年。人々が何に関心を持ち、心のありようがどう変わっていくのか——ライフスタイルの近未来を、足元の小さな変化に着目しつつ大胆に読む電通のクリエイティブシンクタンク「電通Bチーム」はこう予想する。

「デジタル化がさらに進み、SNSやIoT、AIといったテーマが引き続き注目を集める一方で、スマートフォンがここまで普及すると、さすがに疲れを感じ、少し離れたらという意識が強まる。2018年は、デジタルドトックスが切実なテーマになりそうです。すでに、日中はデジタル機器を駆使して効率を上げながら仕事をけれど、夜までデジタルの世界にいたくないという人は少なくない。自宅に帰ったら、会話や読書を楽しんだり、あるいはレコードを聴いたりする。つまり、くつろぐときはデジタルのスイッチを切って「アナログ」という過ごし方が増えるでしょう」

TREND FORECAST 2018 LIFESTYLE

五感に触れる リアルな体験に 人々は惹かれていく

KEYWORD / 1

新顔スポーツ でつながる



上右／ベルト状のラインの上を歩いたり跳んだりする「スラックライン」。誰でもすぐに始められ、楽しめる。上左／夜はゆっくりと読書やレコードを楽しむ……デジタル機器のスイッチを切って、2018年、人は自宅で“アンブラグド”の時を楽しむ。左／五感で受け止める一次情報の価値が高まる。都市と地方の両方に拠点を置いて往復したり、地方を訪ね、得た情報で旅を楽しむ人が増える。

KEYWORD / 3 地方発信

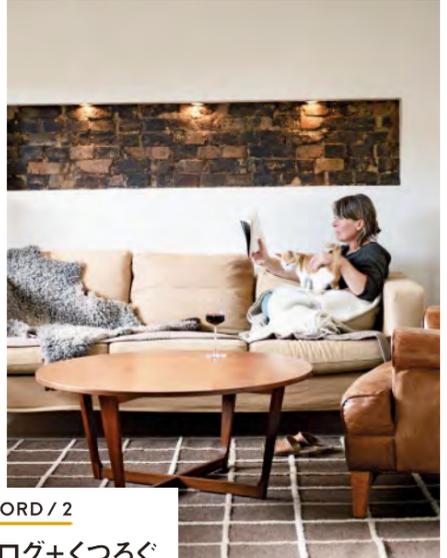


動する、そのことに魅力を感じる人が増える。その点、地方は魅力的な一次情報にあふれています。あえて下調べなどをせずにぶらりと出かけてみる、あるいは都市と地方のそれぞれに拠点を置いて往復するような人も多くなるでしょう」



>> お話を伺った人
電通Bチーム
電通のクリエイティブシンクタンク。私的活動や深い趣味など本業以外にB面を持つ社員50人が集う組織横断「好きこそもの上手なれ集団」。右から、田中さん(社会学)、山田さん(美容)、倉成さん(コンセプト)、牛久保さん(テーマフリー)、鳥巢さん(平和)。

KEYWORD / 2 アナログ+くつろぐ = アナログ



「たとえば、70年代80年代のファッションを知っている世代から見たら既視感のあるものでも彼らにとってはまったく新しいもの。躊躇なく時代をミックスしてしまおうし、従来のおしゃれコードになかったものを簡単に組み合わせることが、2018年には新しい波として確立され、無視できないものになるでしょう。ミレニアル世代はそれくらい影響力があると言われています」

藤岡さんが「ミレニアルデコ」と呼ぶこのスタイル。具体的には、たとえば

「たまたま分野に先駆け、いち早く来年のトレンドを実感できるファッションの世界。ファッションジャーナリストの藤岡篤子さんは、2018年の特徴をこう話す。『ここ数年、エフォートレス』という言葉でくられるナチュラルでリラックスしたファッションが主流でしたが、そこにはつきりとした変化が。刺激的なものを求める人が増加し、グッチに代表されるような、過剰な色やディテール、装飾が、世界中で支持される傾向が見られます」

英国調ブレザーなのに派手な色のチェックだったり、手の込んだ刺繍が施されていたり。デコラティブな素材使いや、ワッペンやステッカーがたくさんついたウエアや小物、また個性的なファー使いなどが特徴だ。デコラティブな傾向は色のトレンドにも。来年注目されるのが、迷いのない真紅、いわゆるトゥルーレッド。カフスだけ、インに着たタートルだけ、パイピングだけなど、スタイリングに赤のアクセントを利かせるのがトレンドだという。併せて、赤・オレンジ・ピンクなどの同系配色や、カラーブロックも注目だ。

また、ポトムスの選び方にも確かな変化が。「女性の場合、ポトムスはパンツまたはスカート、というのがこれまでの常識でしたが、ロング&リーナ、ワイドか、というシルエットで考える時代に。これはメンズにもあてはまります」

さまざまな分野に先駆け、いち早く

英国調ブレザーなのに派手な色の



3



4



5



7



6



8



1



2

1. 贅沢な素材使いは足元のトレンドにも明確に。ツイード素材のショートブーツ 47,520円・ラムバンプス35,640円/FABIO RUSCONI / HB Show-case (Castanèr)
2. 輝くバッグはマストアイテム! シルバーバッグ108,000円/Theatre H.P.FRANCE
3. ささまざまなファーチャームが全盛! ブドウファーチャーム60,480円/STRASBURGO (AUTUMN)



>> お話を伺った人
藤岡篤子さん

ファッションジャーナリスト。毎シーズン、世界各国のコレクション取材を行い、名だたるデザイナーたちとも親交が深い。

5. 大人がキラキラアイテムを身に着けるなら上質感を基準に。コードプレスグリーンリーフ151,200円・ゴールドリーフ248,400円・ホワイトスカル291,600円・ピンクスカル183,000円 / すべて lucien pellat-finet
6・7・8. 藤岡さんも注目するグッチの2018年春夏コレクションより。© IMAXtree



KEYWORD / 2
TRUE RED

トレンドカラーの筆頭は赤。小物から取り入れやすい。フリルライントップス(参考商品) / BEAMS HOUSE(NOMAt.d) 赤チェックストール 23,760円 / プレインピープル パンプス 49,680円 / PELLICO

久々に派手で明るく!
題して“ミレニアルデコ”



KEYWORD / 4
GLITTER

ラメやスパンコールなどキラキラ輝くマテリアルに注目。シルバーラメのローカットスニーカー 55,080円・パープル×スワロフスキーのハイカットスニーカー 90,720円 (スワロフスキーコラボ特別BOX付き)・ハンドバッグ 172,800円・ショルダーバッグ 103,680円 / GOLDEN GOOSE DELUXE BRAND

KEYWORD / 3
DECORATIVE

たっぷりのプリーツや、グラマラスなレース使いなど、デコラティブなディテールも注目ポイント。ブラックドレス 68,040円・白レースブラウス 46,440円・ニットスカート 42,120円 / ISETAN SALONE (KIRA NAKA)



TREND FORECAST 2018
FASHION

KEYWORD / 1
FUR

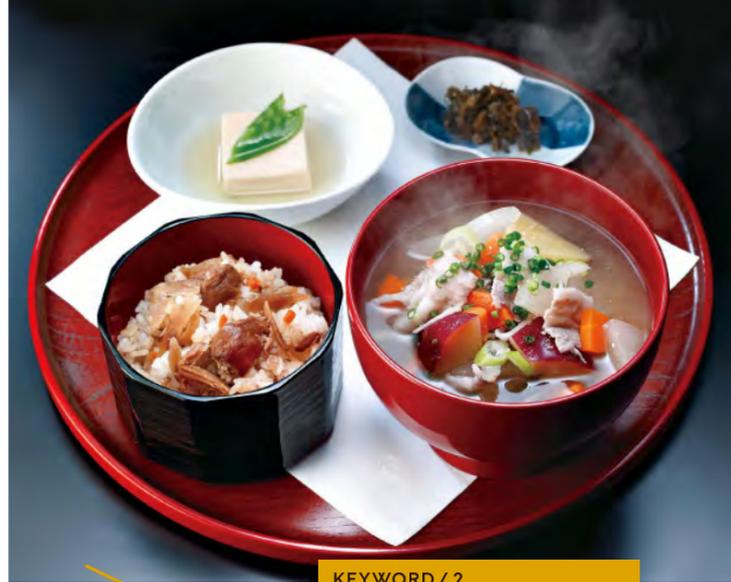
ポリウレミーなファー使いや、効果的な部分使いなど、ファーのアレンジのバリエーションも広がった。Valextraの新作バッグもファー使いで豊かな表情に。バッグ*バスバート* (H21×W26×D16) フラップファー (モンゴリア) 437,400円・サイドファー (アストラカン) 各496,800円 / Valextra



● KNOCK CUCINA BUONA ITALIANA

[ノック クッチーナ ボナ イタリアーナ]

ノック クッチーナ ボナ イタリアーナのボモドーロスバゲッティーニ。真っ赤なトマトソースはイタリアでは幼い頃から慣れ親しんだ、マンマの味。写真右のプレートは、「厳選トマトが美味しいから！」スパゲッティ (1,512円)。



KEYWORD / 2

ノスタルジックで心地よい味に注目

● 茅乃舎

[かやのや]

「汁や」では、茅乃舎のだしを使ったつくりたての汁ものを味わえる。人気の豚汁とかしわ飯を御膳にした「九州の豚汁セット」(1,280円)は誰もが郷愁の思いを抱くに違いない、やさしい味。季節に合わせた期間・数量限定メニューも人気。



● RIO BREWING & CO. BISTRO AND GARDEN

[リオ・ブルーイング・コー ビストロアンドガーデン]

日本、ベルギーをはじめ世界各地でビール醸造を行う日本人がオーナーのファントムブルワリー「リオ・ブルーイング・コー」。東京ミッドタウンではさまざまなクラフトビールが味わえる。日本人好みの味を追求した「初陣」(330ml 1,134円)は、ラベルのデザインにまでこだわりが。

KEYWORD / 3

素材や製法にこだわったフードアイテムが人気に

● DEAN & DELUCA

[ディーン & デルーカ]

世界中の美味しいものを集めた食のセレクトショップDEAN & DELUCA。なかでもチーズや生ハムやサラミなどのジャクチャーは、知る人ぞ知るこだわりのものが揃う。(写真はイメージ)



めまぐるしく変化する「食」の世界。今後の大きな流れは「美味しいものを気取らずに楽しむ」方向へむかうだろうと、食評論家の横川潤さんは語る。「本格的な王道料理でも、くつろぎながら楽しめる店や、ゲストのリクエストに柔軟に対応してくれる店が注目されています。たとえば、アメリカでは、肉料理の王道とも言えるステーキが再評価され、人気が再燃しています。霜降り肉が支持される日本でも、健康志向の高まりもあり、赤身肉にも注目が。表面をしっかりと焼いた王道のステーキに人気が集まるでしょう」

その一方で、国内外問わず、人々が幼い頃から慣れ親しんだ懐かしい味を求める傾向も強まっている。「海外を例に言えば、フランスのピストロや、イタリアのトラットリアといった庶民的なお店で供される、昔ながらの定番料理に、人々が一周回った状態で戻っている、といった状況があります。日本では、お茶漬けや郷土料理の汁もの、アメリカではチキンや野菜のスープ類、イタリアではシンプルなたまごソースのバスタや豆料理などです。つまり、幼い頃に食べた懐かしい、いわゆる「母親の味」への回帰とも言えるのではないのでしょうか。ほっこりして、心まで癒やされる味、私はこれを「コンフォートフード」と呼んで

TREND FORECAST 2018

|| GOURMET ||

気取らない 雰囲気の中で オーセンティックで 懐かしい味を



これからのシーズン、大切な人とのディナーにもおすすめの店内のしつらえ。

● Union Square Tokyo

[ユニオン スクエア トウキョウ]

競争の厳しいNYで高い評価を得ているUnion Square Cafeの姉妹店。人気の「ブラックアンガス チョイス サーロインステーキ 米国」は、肉本来の旨みや食感が楽しめる。300g 6,480円、500g 10,040円、700g 12,960円(税込・サ10%別)。

KEYWORD / 1

正統派の 王道料理に回帰



“welcome home!”がコンセプト。創業者ダニー・マイヤー氏の東京の家で、大切なゲストをお迎えする空間を意識。



>> お話を伺った人

横川 潤さん

食評論家、エッセイスト。文教大学国際学部国際観光学教授。外食産業マーケティング研究の第一人者。「東京最高のレストラン」(びあ刊)の選者でもある。

また、食への意識の高いグルメな人たちの間では、希少価値のあるものや、物語性のあるブランドや食品への関心が高まり、栽培法にこだわった野菜やフルーツ、加工品が静かながら確実にブームになるだろうと、横川さんは予想する。飲み物では、クラフトビールを筆頭に、ワインや日本酒なども、独自の生産方法を貫く小規模な造り手がますます注目されることも。

「2018年は、個人の嗜好、いわばわがままを叶えてくれるような外食スタイルがトレンド。グルメをめぐるトレンドは多極化しつづけていく、そんな一年になりそうです」

注目しています」

コンフォートフードには、単に懐かしいというだけでなく、そこには新たなトレンドも見受けられる。汁ものは、だしに凝ったり高級食材を使ったりと、プチ贅沢に進化し、ひとりでも気軽に懐かしい味をより現代的に楽しむ、そんなカスタマイズ化の傾向もさらに進んでいくと予想される。



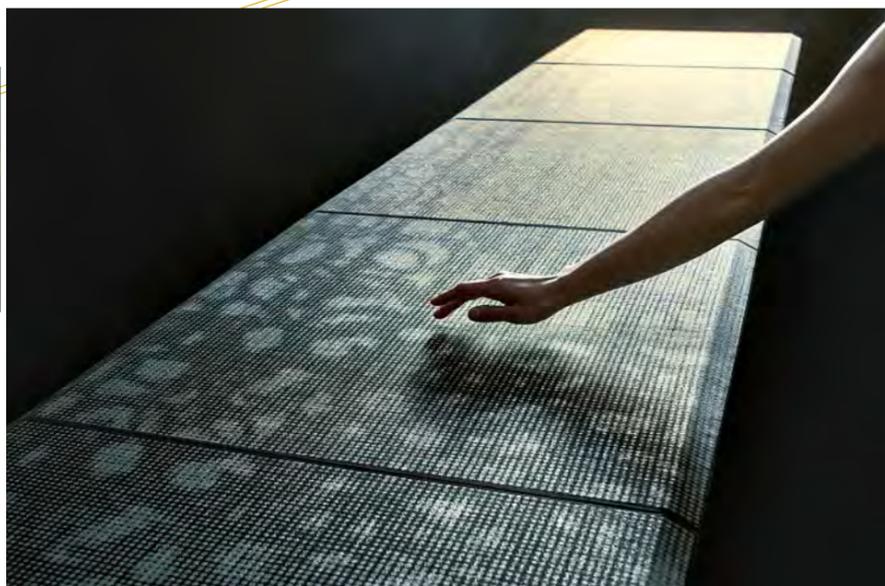
Photo: Takaaki Koshiba

>> お話を伺った人
川上典李子さん
 ジャーナリスト。国内外のデザイン誌や新聞等にデザインに関する記事を中心に執筆。21_21 DESIGN SIGHT企画準備に参加し、開館時よりアシエイトディレクターを務める。



【工芸ハッカソン】
デザインやテクノロジーと融合して広がる伝統工芸の未来

国際北陸工芸サミット「工芸ハッカソン」は2017年9月、11月に開催。富山県内の職人や工芸作家と、多様な分野の専門家がチームを組み、工芸の未来を提示するイノベーションの創出を目指した。



【GO ON×Panasonic Design】
ミラノサローネでも注目された伝統産業の後継者たちの新しい試み

京都の伝統工芸継承者ユニット「GO ON」とパナソニックのデザイナーが新たなプロダクトを創出。上右／『織ノ響』は西陣織の立体的な部分に触れると音が鳴り振動が手に響く。上中／IHからの非接触給電により銀砂を冷やし、冷酒を愉しむ木桶『銀砂ノ酒器』。上左／2017年ミラノサローネの展示。

【ロンドン・デザイン・ビエンナーレ】
デザインフェスを越えた「ロンドン・デザイン・ビエンナーレ」が開催!

第1回「ロンドン・デザイン・ビエンナーレ」では、既存の分野を超えた多様なデザインの可能性を探った。日本から川上さん注目の鈴木康広氏が参加。鈴木氏はTokyo Midtown Award「アートコンペ」の審査員も務める。



写真提供(上・右上): 国際交流基金

TREND FORECAST 2018
DESIGN

同じビジョンをもった、デザインと異分野がタッグを組む時代へ

【TAKT PROJECT】
デザイン×エンジニアリングでもの作りそのものに問いかける

デザインの可能性を、社会とつながりながら実践するTAKT PROJECTに海外も注目。左/pecopaco。薄い紙にUV印刷を施すことで、繊細な紙に強度を与え構造体として立ち上がる。下/COMPOSITION。電子部品を透明なアクリルに封入。「どこまでが素材で、どこからがプロダクトか?」と問いかける。



Photos: Masayuki Hayashi

【YAMAHA】
音とデザインの新しい関係に注目が集まる

川上さんが今注目するのが音×デザイン。2017年のグッドデザイン大賞を受賞したヤマハ・ヴェノーヴァは、新しい管楽器。「分岐管」を使いサクソフォンのような音色を実現する。



注目!
21_21 DESIGN SIGHT 2018年の企画展

川上さんがアシエイトディレクターを務める21_21 DESIGN SIGHT。2018年は、今回のお話に合致するような、デザインとテクノロジーの融合を感じ取る企画展が予定されている。2018年2月23日(金)～6月10日(日)には伊藤俊治氏が展覧会ディレクターを務める。従来の枠組みを超えて多元的な表現世界を伝える「写真」をテーマにした企画展。また、6月29日(金)～10月14日(日)には中村勇吾氏が展覧会ディレクターを務める。時間軸上の聴覚体験である音楽を多様な視点から構造的にとらえた、「音」をテーマにした企画展を開催。詳細は、<http://www.2121designsight.jp>



伊藤俊治



中村勇吾

また、最先端のテクノロジーとデザインとの融合も注目のひとつ。

「内部の機械的な仕組みをそのまま形として表現したり、デジタル信号処理技術を使って人を心地よくする音を創造するなど、次々と新しいものが生まれています。今年のミラノサローネで『ベストストーリーテリング賞』を受賞したパナソニックデザインとGO ONのプロジェクトも、こうした動きの好例です」

GO ONは、京都の伝統工芸の後継者が、自分たちの技・素材・ストーリーを国内外の企業・クリエイターに伝えつつ今までにない新しいものを生み出しているという点と結成したユニット。パナソニックとのプロジェクトでは、日本的な価値観をもった新しいイノベーションを生み出し、伝統の力を未来へ受け継いでいくことを試みた。他方パナソニックは、日本の文化力、モノづくりの強み、日本人の感性に改めて学びながら、「100年先に向かって新しい豊かさを生み出す家電」「人の記憶や五感に響く未来の家電」をつくりたいと考えており、その両者の思いが合致し、画期的な提案に結実している。

「伝統工芸と現代のプロダクト、それぞれのつくり手が真剣に人間とものとの関係を探ったからこそ、大きな話題になったのだと思います。異なる立場の人々がこれまで以上に深く問題に立ち向かうという動きがさらに活発になっていくのではないのでしょうか」と川上さん。

対極にあるものとして接点を持たなかった世界が出会い、結びつく。その結び目にデザインがある。それが次に何を生むのか、興味は尽きない。

「ここ数年の動きではあるのですが、デザインの分野で、異分野同士がより強力にタッグを組む時代に突入しています。デザイナー、エンジニア、サイエニストなど専門領域が異なる人々が、知識や思考を交わし、問いを投げかけるプロジェクトが続々と登場するでしょう。確かにこれまででもコラボレーションはありました。しかし今進んでいる連携は、できないところを補うものではなく、お互いを隔てる壁そのものを取り払って、立ち位置を生かしながら同じ気持ちで生活や社会の未来を共に考えるというものになっています」

その一例として川上さんが挙げるのが、2018年9月に開催される第2回「ロンドン・デザイン・ビエンナーレ」だ。ロンドンといえば、世界有数のデザイン都市として知られ、毎年秋に開催されるロンドン・デザイン・フェスティバルが注目を集めているが、そこに「ビエンナーレ」の名を冠し、2016年にスタートしたコンセプト的な展示会だ。

「『デザインとは国の違いを超えた言語である』と、展示会の中心人物であるサー・ジョン・ソレルは強調。人間と社会、文化とデザインについて、デザイナーやアーティスト、建築家、科学者などがテーマに沿ってジャンルを超えた問いを投げかける、これまでにない展示会で、今回は「Emotional States」がテーマ。新たなデザイン展示会の形として世界的にも期待されています」

21_21 DESIGN SIGHTのアシエイトディレクターを務める川上典李子さんは、2018年のデザイン界をこう展望する。



「秒速5センチメートル」場面カット © Makoto Shinkai / CoMix Wave Films

「新海誠展『ほしのこえ』から『君の名は。』まで」
～2017年12月18日(月)国立新美術館 企画
展示室2E

**アニメを題材にした
展覧会に熱視線!**

日本を代表するカルチャーのひとつ、アニメ。「君の名は。」の大ヒットを記録した新海誠監督の貴重な原画などを展示した展覧会が大人気。



TREND FORECAST 2018

ART

**多様化するアート。
日本からの発信に
世界が注目!**

2007年の開館以来、さまざまな美術表現を紹介、新たな視点提起し続けている国立新美術館は、日本のアートシーンを牽引する存在。アートの世界を大きく広げながら、次々と話題の展覧会を企画・開催し、今秋冬も、『安藤忠雄展』や『新海誠展』が大きな話題を呼んでいる。

「2015年開催の『ニッポンのマンガ *アニメ*ゲーム』展、2017年春の『草間彌生 わが永遠の魂』などは、予想を多く上回る来場者があり、大変嬉しく思っています」と語る、国立新美術館広報・国際室長の本橋さんは、来年のアートシーンの動向をこう語る。

「大きな特徴は、アートを楽しむのに、ますますジャンルや国境が関係なくなるとのこと。たとえば、『ニッポンのマンガ*アニメ*ゲーム』展は、日本

からミャンマー、そしてタイへと巡回し、大評判となっていますし、一方で、『MIYAKE ISSEY展』には、日本で見られなかった、世界各国から来場者があり、全体の約7分の1を海外からは予期しなかった嬉しい結果も。

このように今、日本だけでなく世界の方々がアートの世界を柔軟に行き来しながら、広げ、楽しんでいる。この流れは来年も続き、むしろ加速すると思います。そして、プロダクトデザインはもちろん、ファッション、建築などがテーマの美術展も増えると思うのは、同広報室の山本さん。「さらに、来場者がアートとインタラクティブに関わったり、写真を撮って発信するといった、開かれた参加型の展覧会がますます増えるはずだ」

**世界中が注目!
日本の巨匠たちを
フィーチャー**

昨年、国立新美術館で大きな話題になったMIYAKE ISSEY展や草間彌生展、現在開催中の安藤忠雄展など、日本が誇る巨匠たちの展覧会が、多くの観客動員数を記録。国内だけでなく世界中から注目され、海外からの訪問者も激増した。



ポर्टレイト 撮影: 岡本経雄

『安藤忠雄展—挑戦—』
～2017年12月18日(月)
国立新美術館
企画展示室1E+野外展示場



海外からの注目が高かった
『MIYAKE ISSEY展: 三宅一生
の仕事』(2016年3～6月)
展示風景

撮影: 吉村昌也

**SNS発信が変える
アート展覧会**

2017年1月に行われ、全面的に撮影OKだった、国立新美術館開館10周年記念事業 特別展示「NACT Colors—国立新美術館の活動紹介」。カラフルで、インスタ映えする数字の森のインスタレーションなどが大きな話題に。



『NACT Colors—国立新美術館の活動紹介』数字の森
エマニュエル・ムホー

INFORMATION

そのコレクションの質の高さで知られるスイスの大実業家エミール・ゲオルク・ビュールレ。絵画史上、最も有名な少女「イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢」や、モネ晩年の睡蓮の大作など、必見の作品で構成。



『至上の印象派展 ビュールレ・コレクション』
2018年2月14日(水)～5月7日(月)
国立新美術館 企画展示室1E

〈イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢(可愛いイレーヌ)〉
1880年 © Foundation E.G. Bührle Collection, Zurich (Switzerland)
Photo: SIK-ISEA Zurich (J.-P. Kuhn)

本橋弥生さん(右) 山本桃子さん(左)

注目の展覧会を次々と開催する、国立新美術館の広報・国際室長の本橋弥生さんと、アソシエイトフェローの山本桃子さん。



TREND FORECAST 2018

BOOK

**言葉や世界を考える
きっかけとなる
本との出会い**

本のトレンドには世相が反映している。1.『芸人と俳人』又吉直樹・堀本裕樹著1,404円(集英社) 2.『たとえる技術』せきしろ著1,490円(文響社) 3.『月とお日さまの間』植松永次著3,240円(赤々舎) 4.『新版』『全体主義の起原1』ハンナ・アーレント著/大久保和郎訳4,860円(みすず書房)



ブックディレクターとして、常に「心深く刺さる本」を紹介し続けている幅允孝さん。「本は、読み手の血肉になるものであってほしい。それが本を選ぶときの基準になっているという。「トレンド」という意味でいうと、数十年前に出版されたハンナ・アーレントの『全体主義の起原』が新版で出るなど、かつての戦争の在り方を分析した本が多く読まれる傾向があります。現代の不安な情勢と重ね合わせるため、読者が自分なりの考えを巡らせるための本だと思います。また一方で、インターネット、SNSなど情報が膨張し続けているのは、何に時間を割くかということが生活のなかで重要になっている時代だと指摘する幅さん。「だからこそ短い言葉や絵、写真など、見るだけでグッと内側に入ってくる本がますます増えてくるでしょう。クストツと笑える自由律俳句で注目されたせきしろさんの本などは、教科書にしてほしいくらい。また注目したいのは、生活工芸がアートの近付いていること。形に作為のない植松永次さんの作品集は必見です」



>> お話を伺った人
幅 允孝さん
BACH代表、ブックディレクター。人と本が上手に出合えるよう、さまざまな場所で本を提案する。Instagram@yoshitaka_haba https://www.instagram.com/yoshitaka_haba

Photo: Kazuhiro Fujita

TREND FORECAST 2018

MUSIC

**生音やバンドサウンド、
アナログへの回帰は
まだまだ続く!**



ポール・スタンレー
Paul Stanley's Soul Station
2018年1月11日(木)～13日(土)
@Billboard Live TOKYO

KISSのポール・スタンレーによる渾身のソウル/R&Bプロジェクト、Soul Stationの待望の来日公演。唯一無二の歌声と、圧倒的なカリスマ性をクラブ空間で堪能する絶好の機会。



スティーヴ・ルカサー
Steve Lukather 'Nerve Bundle'
12月19日(火)～20日(水)
@Billboard Live TOKYO

そのギター・テクニックでファンを魅了してきたTOTOのスティーヴ・ルカサーを中心としたスーパーセッション。
※3公演とも詳細はHPでご確認ください。www.billboard-live.com



>> お話を伺った人
長崎良太さん
Billboard Live ブッキングマネージャー。国内外の音楽シーンにアンテナを張り、アーティストの招へいなど、ライブの企画を手がける。

国内外の一流アーティストたちによる至極のライブを提供するBillboard Live TOKYO。トレンドやニーズをラインナップに反映させていく、ブックイング担当の長崎良太さんは、来年の音楽シーンについてこう語る。「機械で作られた電子音の隆盛がいつか段階して、生音やバンドサウンドが復活。アナログの良さが再認識されています。また、80年代のディスコミュージックやバブル後期の楽曲も、若い人には新鮮に、当時を知る人には懐かしく受け止められ、人気は続きそう。人が奏でる温かみのある音楽が求められているのだと思います。それを反映したライブもいくつか企画中です。2018年はぜひ、生音の良さをたっぷり楽しんでほしいですね」



PICK UP
ジャミーラ・ウッズ Jamila Woods

2018年1月23日(火)
@Billboard Live TOKYO
グラミー受賞ラッパー、チャンス・ザ・ラッパーとのコラボレーションなどで知られる、ブレイク街道まっしぐらのジャミーラ・ウッズの注目ライブは必見!

BREWING METHODS 6 希少なコーヒーを多彩な6つの抽出法で

3 CLOVER BREWED クローバー

コーヒー豆に合った抽出時間や温度をデジタル制御し、豆の個性を最大限に引き出す。豆のもつ風味をバランスよく抽出するため、大吟醸のようなきれいな味に。持ち味すべてを楽しめる。初めて飲む豆をこれで試すのもいい。



2 POUR-OVER フアオーバー

ドリッパーとペーパーフィルターを使ったおなじみのハンドドリップ。沸騰した湯を約20秒おき、90～96℃に温度を下げて、バリスタの巧みな手業でいれていく。厚みのあるやわらかな味が楽しめる。味の余韻が長いのも特徴。

1 NITRO COLD BREW COFFEE ナイトロ コールド ブリュー コーヒー

コールドブリュー（水出し）コーヒーに窒素を加えているので、クラフトビールのようななめらかな泡が楽しめる。クリーミーでベルベットのような舌触り、香りと味ともに軽やかでいて深い。コーヒー豆を通常よりも多く使用。



6 SIPHON サイフォン

ランプの熱でお湯を沸かし、ロートと呼ばれるガラスの中をコーヒーが渡る、ドラマチックな抽出法。見ていて楽しいこともあり、とても人気がある。クリアな味わいと、時間とともに変化する香りと酸味をゆっくり堪能できる。



5 COFFEE PRESS コーヒー プレス

スターバックス全店で使用し、根強い人気のコーヒープレス。挽いた豆を4分間漬けてからプレスするので、オイルまで抽出され、コーヒー豆の味わいを丸ごと楽しめる。濃厚で飲み応えのある一杯に。

4 BLACK EAGLE ブラック イーグル

エスプレッソマシンの王様「ブラック イーグル」。バリスタの知識とマシンの威力で、最高のエスプレッソが味わえる。「カフェラテは特に美味しく仕上がります」と、今回、コーヒーをしてくれたのは、バリスタ・井内理恵子さん。



ここでしか味わえない極上のコーヒータイムを！ STARBUCKS RESERVE® BARの楽しみ方

今年リニューアルし2フロアになったSTARBUCKS COFFEE。2階のSTARBUCKS RESERVE® BARでは、選ばれしブラックエプロンバリスタが入れる特別の一杯が味わえる。極上のコーヒータイムを100%楽しむ方法をご紹介します。

Photos : Setsuo Sugiyama Text : Mika Kitamura



STARBUCKS RESERVE® BAR 限定メニュー

COFFEE STEEPED BEER (左)

ドイツ・デュッセルドルフ産の「アルトビール」に豆を漬けて風味を移したドリンク。香り豊か、甘みを帯びたふよかな味わい。885円～

ESPRESSO TONIC (中央)

トニックウォーターとエスプレッソが織り成す爽快な一杯。コーヒーの甘みと酸味、トニックウォーターの苦みが渾然一体に。885円～

ICED FOAM MACCHIATO (右)

下からミルク、エスプレッソ、クリーミーなコールドフォームミルクの魅惑の味。コーヒーの粉がアクセント。864円～



「スターバックスリザーブバー」限定のオリジナルドリンクもある。週3回ほど開催されるセミナーはすぐに満席になる人気だ。味はもちろん、空間からサービスマンまで、バラエティーに富んだ特別な「バー」。コーヒーの奥深さを知る楽しみの尽きないお店だ。

「スターバックスリザーブバー」限定のオリジナルドリンクもある。週3回ほど開催されるセミナーはすぐに満席になる人気だ。味はもちろん、空間からサービスマンまで、バラエティーに富んだ特別な「バー」。コーヒーの奥深さを知る楽しみの尽きないお店だ。

「スターバックスリザーブバー」特別なスターバックスが東京ミッドタウンに今夏、誕生した。銀座に続いて国内2軒目。自然光のたっぷり入るシックな空間で極上の一杯を楽しめる。15mに及ぶ無垢材のカウンターの前でコーヒーをいれるのは、「ブラックエプロン」と呼ばれるバリスタたち。コーヒーへの深い知識と高い技術を持つ精鋭たちだ。豆は、バイヤーが世界中のコーヒー農家を訪ねて手に入れたものや、通常、年間25万杯以上も繰り返されるカップリングと呼ばれる風味テストから厳選されたものが、シーズンごとに4～8種類、登場する。そのなかから好みの豆を選び、抽出方法をサイフォン、ハンドドリップ、水出しなど6種類から指定することができる。もちろんわからなければ好みを伝えておすすめを教えてもらうのも可能だ。同じ豆でもいれ方によって味わいが異なる。通ううちに自分の舌に合ったいれ方を発見するはず。1週間で完売してしまう希少な豆に出合うことも。豆にまつわるストーリーをバリスタから聞くのも、コーヒー通には珠玉の時間だろう。

「スターバックスリザーブバー」限定のオリジナルドリンクもある。週3回ほど開催されるセミナーはすぐに満席になる人気だ。味はもちろん、空間からサービスマンまで、バラエティーに富んだ特別な「バー」。コーヒーの奥深さを知る楽しみの尽きないお店だ。

リラクセスした空間で奥深きコーヒーの世界を堪能

Shop Data
STARBUCKS COFFEE
プラザ1・2F
☎03-5413-6531
7:00-23:00
※セミナーの詳細はHPにてご確認ください。
<http://www.starbucks.co.jp/>

Hearty Gift Ideas

あの人を笑顔にするのは
ちょっとしたサプライズと上質感

イニシャルや星座のボックス入りが嬉しい。ハンカチBOX8個入り19,440円・マイクロファイバー (M・J・K) 各2,052円・コットン (O・T) 各2,484円・ファイバー (蟹座) 2,268円・コットン (魚座) 3,024円 (MR. & MRS. CHIEF)・ジュエリーはほかにないデザインを厳選したい。フープピアス (K18YG×淡水) 162,000円・二連リング (K18YG×淡水パール) 280,800円・スライスダイヤリング (K18WG×ダイヤ×スライスダイヤ) 194,400円・パール&ストーンリング (K18PG×南洋パール×ダイヤ×ムーンストーン) 324,000円 (すべてシンティランテ)・ネックレス (K18YG×ダイヤ) 62,640円 (レスピロバイ シンティランテ) / 以上 ISETAN SALONE チェーンブレスレット 355,320円・ウォレットチェーン 235,440円 / すべて Ron Herman (HOORSENBUSHS) 日々の愛用品こそ箱入りで。ハンドクリーム・ボディームース・ハンド&ネイルクリーム各2,700円・花を活けたフラワーベース4,104円 / すべてIDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC こだわりの綿先が素肌美を呼び起こす逸品ブラシ。ボディブラシショート (ソフト/セミハード) 各10,800円・ソープディッシュ・トレイ各3,780円 / すべて

テネリータ (SUVÉ) シガーを置けるくぼみのついた技ありグラスと、美しいボトルの香水はカップルのアニバーサリーに。WSCスピリッツグラスペアセット15,660円・シガーWSC STATESMAN4,500円・レロワイヤル エクスクリュシブ ホワイトフラワーズ オードパルフム75ml 54,000円 (CREED) / すべて Davldoff of Geneva / Salon des Parfums サングラス 35,640円 / EYEVAN (OLIVER PEOPLES) キャンドル16,200円 / Lucien pellat-finet 持ちものにこだわる男性に贈りたい、ペン先が18金の万年筆。万年筆 Intuition フルード 59,400円・ボトルインク 75ml 3,888円 / すべてファーバーカステル (GRAF VON FARBER-CASTELL) ページュバッグ 32,400円 / FABIO RUSCONI / HB Show-case 大人の男性にふさわしいグルーミングセット KIYA 量 7,020円 / 日本橋 木屋 レザー小物は革の質感にこだわって。キーホルダー (M) 11,880円・(S) 10,260円 / すべて STYLE MEETS PEOPLE (MASAMI TANAKA) 黒長財布 34,560円・イエローキーケース 9,720円 / すべて Theatre H.P.FRANCE (DELLE COSE)

想いを込めてあの人へ 厳選冬の贈りもの

贈りもの選びが楽しい季節の到来。この冬、大切なあの人へ何を贈ろうか、そんな思いをめぐらす時間も楽しい東京ミッドタウンから、とっておきの贈りものリストをお届け！

Photos : Shin Kimura Styling : Yumi Ito
Special thanks to AWABEES, PROPS NOW, UTUWA





女性への冬の贈りものにふさわしいカシミアニットとファーショールこそ、色や質感にこだわって上質なものを選びたい。カシミアニット(オフホワイト・ネイビー)各28,080円・フォックスファーショール57,240円/すべてJOSEPH THE STORE エッセンシャルオイル*エデンブリーズ*10ml 4,536円/THANN Valextraのアイコンバッグは、洗練されたシンプルなデザインが、トレンドのモードなファッションとも好相性。ハンドバッグ*Mini ISIDE*318,600円/Valextra 色やデザインに遊び心のあるアクセサリーで彼女を笑顔に! カラーリング各12,960円/ブレインビープル(ルーカスジャック) ネックレス59,400円・箱に入った4連バングル47,520円/すべて Theatre H.P. FRANCE (IOSSELLIANI) リング(K18WG×ダイヤモンド×スライスダイヤ) 626,400円・ピアス(K18YG×アコヤパール×ガーネット×ダイヤモンド×エメラルド×イエローサファイア×ブルーサファイア×キャッツアイ×ルビー) 209,520円/すべて ISETAN SALONE (シンティランテ) おしゃれ上級者にはシックカラーのハットを。ウールフェルトハット23,760円/HELEN KAMINSKI

あの女性に贈りたい
さりげなくトレンドをおさえた
各ショップの人気アイテム

for Her

for Him

オンタイムにもオフタイムにも
自分らしさを忘れない男性へ



毎年発売されるアンバーサリータイは人気のコレクションアイテム。上品なシャツとジレをコーディネートして。グレーのニットジレ30,240円・ストライプシャツ41,040円・ネクタイ39,960円/すべてE.MARINELLA NAPOLI イタリアの粋な小物をチョイスして。ストール78,840円・iPhoneケース41,040円・ベルト38,880円・カフス75,600円・カードホルダー(ブラウン・ネイビー) 各42,120円/すべてISAIA Napoli (ISAIA) 眼鏡男子に贈りたいトレンドのメタルフレーム。メガネ69,120円/EYEVAN (10eyevan) 男性のバスルームにも似合う香りとボトルデザイン。バス&マッサージオイル*スプリングフォレスト*295ml 3,780円/THANN 休日をおしゃれに彩るこだわりのキャップ。ネイビーストライプウールキャップ17,280円/HELEN KAMINSKI (KAMINSKI XY) メイドインジャパンの技が生きるハンドメイドの上質レザーアイテム。エンペローフ・クラッチバッグ(S) 45,360円/STYLE MEETS PEOPLE (MASAMI TANAKA) 持ちものの細部までこだわる男性に贈りたい。オーデオロン スペアミントティ125ml 8,100円(CLAUS PORTO)・カードケース34,560円/すべてTHE SLOWEAR STORE



WINTER
1
TOPICS

イルミネーションとともに 最上の味わいを。 「ミッドタウン・クリスマス2017」

今年も好評開催中のクリスマスイベント。注目は、芝生広場の「スターライトガーデン2017」など、約51万個の光が煌めく、計6種類のイルミネーション。また、館内の一部レストランからはイルミネーションを望むことが可能。クリスマス限定の特別なコースも堪能できる。

スターライトガーデン2017
期間：11月15日(水)～12月25日(月)
点灯時間：17:00～23:00

1.日替わりの演出で宇宙旅行を表現する「スターライトガーデン2017」。2.一面の光が眼下に広がる特等席。予約はピーク前がおすすめ。3.「Artisan de la Truffe Paris」では、12月23日～25日の間、トリュフ尽くしのスペシャルコースをご提供。



WINTER
4
TOPICS

新春の食卓を豪華に彩る 贅を尽くしたおせち料理

東京ミッドタウンでは、和洋の名店が手がける豪華なおせち料理をご用意。見た目にも美しい、豊かな味わいをお楽しみください。

1.Artisan de la Truffe Parisの「Artisan de la Truffe Paris おせち2018」37,800円 ☎03-5413-3830 2.宮川町 水産の「おせち 一段重」15,100円 ☎03-5413-1881

※下記の店舗でもおせち料理を販売。

ザ・リッツ・カールトン東京 ☎03-6434-8711
鉄板焼ステーキ 喜楽亭 ☎03-5413-7988
伊賀の里モクモク手づくりファーム ☎03-6434-0313
DEAN & DELUCA ☎03-5413-3580
Precece Premium ☎03-5413-5109
セブン-イレブン ☎03-5413-0717
※詳細は各ショップにお問い合わせください。
売り切れ次第、終了となります。

六本木開館10周年記念展 フランス宮廷の磁器 セーヴル、創造の300年

フランス内外の王侯貴族に愛されたセーヴル磁器。本展示では、ヨーロッパ磁器の最高峰のひとつとして君臨し続ける、300年におよぶ歴史の軌跡を紹介。卓越した職人技による名品のほか、日本の著名なアーティストとのコラボレーション作品も一堂に会する。

1.〈バーヴェル・ベトロヴィチのティーセット〉1772-73年 セーヴル陶磁都市
Photo © RMN-Grand Palais (Sèvres, Cité de la céramique) / Droits réservés / distributed by AMF
2.〈ゴールデン・スピリット〉 草間彌生
2005年 セーヴル陶磁都市
Photo © Sèvres, Cité de la céramique, Dist. RMN-Grand Palais / Gérard Jonca / distributed by AMF



WINTER
3
TOPICS

賑々しく一年の始まりを祝う 東京ミッドタウンのお正月

迫力ある獅子舞や老舗酒造「福光屋」の振る舞い酒、戌年にちなんだ装飾など、おめでたい雰囲気包まれる東京ミッドタウン。伝統的な日本のお正月を味わいながら、新春のひとときを過ごしたい。初売りは1月2日(火)から。



WINTER
2
TOPICS

サントリー美術館
期間：11月22日(水)～1月28日(日)
休館日：火曜日(12月30日～1月1日は年末年始のため休館)
※1月2日、9日、16日、23日は18:00まで開館
開館時間：10:00～18:00
(金・土および11月22日、1月7日は20:00まで開館)
☎03-3479-8600
<http://suntory.jp/SMA/>

2

1

for Party Time

目でも楽しめる
“美味しい贈りもの”を
パーティの手土産に

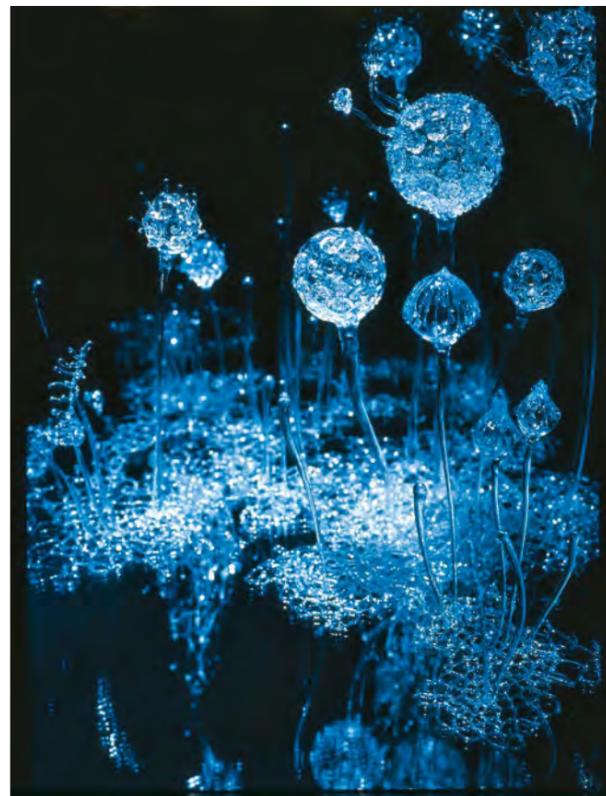


美しいライトゴールドのシャンパーニュ。バランスの取れた、果実感が特徴。Faniel & Fils Orisane Brut 5,400円・まるでフルーツのようなキュートなゼリー。フルッタドッピア 3,240円・赤い箱入りで可愛いレザンドレ・オ・ソートルヌ 30g 各 821円 / すべて DEAN & DELUCA こだわり素材のカラフルスイーツ。ケーキ「パンブー」・「サヤ」各 891円・「ショコラブラン」780円・マカロン 12p 4,200円 (12月25日まではクリスマス限定スリーブ付き 4,350円) / すべて pâtisserie Sadaharu AOKI Paris 生チョコ「ショコラ・コアントロー」1,200円 / Toshi Yorozuka グラスRAISIN vin mousseux 4,104円・丸皿 YAMABUKI (28cm) 7,884円 (23cm) 3,240円 / TIME & STYLE MIDTOWN テーブルウェアもデザインにこだわりたい。コルク抜き & フォイルカッターセット 5,400円 (ブジョー)・エッグカッター 10,800円 (アドラー) / すべて日本橋 木屋 テーブルアクセントにもなる銀の箸置。箸置 吉祥紋様 5客セット 桐箱入り 5,400円 / WISE・WISE tools ディナーナイフ 3,240円・ディナーフォーク・ディナースプーン 各 1,458円 / IDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC

野生展：飼いならされぬ 感覚と思考

[21_21 DESIGN SIGHT]

生駒芳子が誘う
今見たいアート
TEXT BY YOSHIKO IKOMA



青木美歌「あなたと私の間に」(Photo: Yusuke Sato)



生駒芳子
Yoshiko Ikoma

marie claire 編集長を務めたのち、2008年ファッションジャーナリストとして独立。ファッション、アートからエシカル、クール・ジャパン、伝統工芸の発信など、多方面で活躍中。

DATA
21_21 DESIGN SIGHT 企画展
「野生展：飼いならされぬ感覚と思考」
展覧会ディレクター：中沢新一
企画協力：野沢なつみ(明治大学 野生の科学 研究所)、山田泰巨
2017年10月20日(金)～2018年2月4日(日)
21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー-1、2
☎03-3475-2121
休館日：火曜日 12月26日～1月3日
開館時間：10:00～19:00(入場は18:30まで)
入場料：一般1,100円 大学生800円
高校生500円 中学生以下無料
www.2121designsight.jp



展覧会ディレクターは思想家・人類学者の中沢新一



上/井上嗣也「Wild Series」
(写真：吉田多麻希)
左/西村裕介「ボゼ」
(デザイン：井上嗣也)



地方を旅するたびに思うことがある。何を買って帰るよりも、山や森をめぐる風や、田畑を包む澄み渡る空気こそを、家に持って帰りたい！と。そう、自然の中にしか宿らない空気や気配、それは「野生」と呼ばれるものであり、人間の五感を刺激し、インターネットなどより遥かに莫大な情報を放ち続ける世界だ。

この「野生」に着目した展覧会が開催される。21_21 DESIGN SIGHTのディレクターである三宅一生、深澤直人、佐藤卓が定例会議を開いた際に、「今の時代、もっと野生を感じさせる表現が必要ではないか」と

いう声上がり、そこから展覧会のテーマは「野生」と決まり、さらに深掘りするために、ディレクターに中沢新一を迎え入れられた。「私たち人間の内に潜み、「まだ飼いならされていない心の領域」こそが、今まさに大切になってきている「野生」のすみかである」と中沢は語る。人類学者であり、思想家、宗教学者でもある中沢新一は、理性や合理性が重んじられていた高度成長期に、ニューアカデミズムの潮流の中で「野生」の重要性を唱え、一石を投じたことで知られる。

傑出した足跡を残した熊楠を、80年代、一躍時代のヒーローに立てた功績は大きい。今回の展覧会では熊楠の精神を野生を読み解く手掛かりとして、若手から大御所まで作家が選別され、なかでもアートディレクター、井上嗣也による妖しくも印象的なキービジュアルに込められたメッセージには注目したい。20世紀半ば、「悲しき熱帯」野生の思考」を世に送り出したレヴィ・ストロースは、未開社会の混沌の中に、秩序と構造を見いだす研究に没頭した。それから半世紀を超える時間が経った今、私たちは、インターネットという第二の自然に囲まれた環境で、新たな「野生」を模索する時代に入ったのかもしれない。

五感に響く上質デザイン 冬の暮らしに添えたい ナチュラルカラーのアイテム

ゆっくりと季節が移り変わり、いつものまにか、街全体がひんやりとした空気に包み込まれている。家の中で過ごす時間が増える冬は、肌ざわりや香りなどに優れた、五感に響くアイテムを取り入れて、豊かな毎日を送りたいもの。

この季節に注目なのは、吟味された天然素材を使って丁寧に作られたホームプロダクト。東京ミッドタウンでは、単に心地よいだけでなく、環境や生産者に配慮した素材を用いるなど、材料の入手方法にまで心が配られた製品を多く取り揃えている。また、白やベージュなどの柔らかな色合いも、ゆったりと時が流れる冬の日常にふさわしい。

たとえばこの上なく柔らかなアルパカウールを使ったブランケットの場合、ブランド自体が世界フェアトレード機関に加盟し、生産者の支援も行っている。また、吟味された上質なエッセンシャルオイルが香るアロマキャンドルや、ふんわりと優しい高級オーガニックコットンのタオル、次世代に伝えたい職人の技術を生かした樹木を思わせる椅子など、こだわりはさまざま。

丁寧にものを作る姿勢は、いまや、よいデザインの重要な要素となっている。環境に優しいものは人にも優しい。デザインに秀でた上質なアイテムを選んで、暖かい家の中で気持ちもほっこり、心からくつろぎたい。



100%天然のワックスと上質なエッセンシャルオイルから生まれたキャンドル「スカイコレクション」。英国の空のさまざまな表情を表現したキャンドルが、手作りの吹きガラスに収まっている。全6種類。各6,264円/bamford



右/あずきやごまなど自然の素材をシンプルに使用した製品で知られるshiro。白を基調としたパッケージデザインがグリーンで美しい「サボンルームフレグランス」は、透明感のある石けんの香り。3,780円/shiro HOME
下/建築家の隈研吾による「Tree Chair」。「カシミアのように人を柔らかく包み込む椅子」をテーマにブナ材で製作。594,000円/lucien pellet-finet



黒田美津子
Mitsuko Kuroda

インテリアスタイリスト、スタイルディレクター。黒田美津子事務所/Laboratory主宰。『Hanako』(マガジンハウス) 創刊メンバーとして雑誌記者に。現在は広告、住宅、イベント、商業施設などの空間インテリアを手がける。

デンマークのブランド「エルヴァン」によるアルパカウールを使ったブランケットは保温と通気性に優れるだけでなく、素材や環境に配慮し、丁寧に作られている。「バスケット スロー」19,440円/IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARC



超希少品種「スピニングゴールド・オーガニック」を使った「超甘燃りエクストラリッチタオル」。バスタオルロング10,800円、バスタオルショート8,100円、フェイスタオル4,212円/テネリータ
Photo: Mori Koda



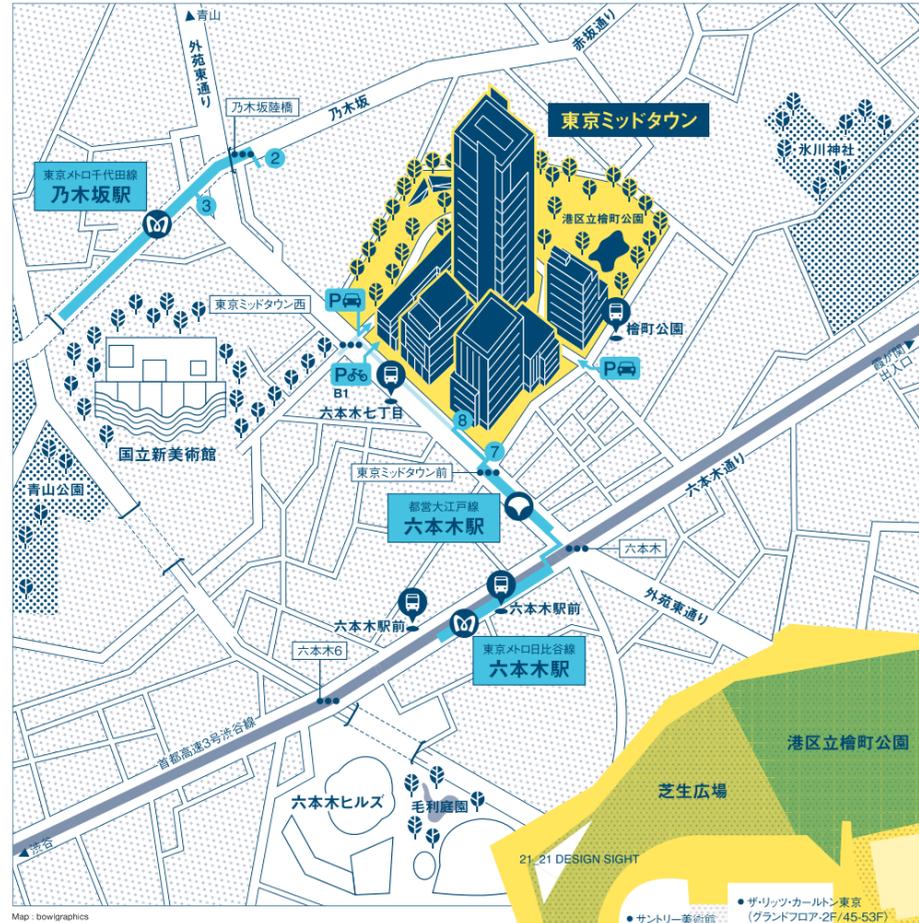
黒田美津子が出合った
注目のデザイン

TEXT BY MITSUKO KURODA

TOKYO MIDTOWN STYLE / 2017 WINTER

Access

to TOKYO MIDTOWN



交通機関のアクセス

地下鉄をご利用の場合

都営地下鉄大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
 東京メトロ日比谷線「六本木駅」より地下通路にて直結
 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約3分
 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」1番出口より徒歩約10分

バスをご利用の場合

都01「六本木駅前」下車徒歩約2分
 ちいばす「六本木七丁目」・「榎町公園」下車徒歩約1分



東京ミッドタウン敷地内図



COVER INFORMATION

Photo: Hironobu Maeda (STIJL)
 Styling: Mafumi Shimada

1. ボルドーウィングラス 16,200円
2. カラードリームプレート 28cm 24,840円
3. カトラリー5点セット(セット価格で) 29,160円
4. シャンパングラス 18,360円
5. フレーパープレート 22cm 15,120円
6. キララプレート 22cm 20,520円
7. キララプレート 28cm 24,840円
8. ブラチナジュガーポット 8,100円
9. ベースパープル 216,000円 / すべて ISETAN SALONE (フランク ミュラー フェーチャー フォーム)

STAFF

Publisher: Mitsui Fudosan Co., Ltd.
 Tokyo Midtown Management Co., Ltd.
 Editorial: Hearst Fujingaho Co., Ltd. Content Marketing
 Tomoko Ohno
 Art direction: Takahito Noguchi
 Design: Dynamite Brothers Syndicate

イベントやショップの案内、最新トピックスなど、お客様に役立つ情報をお届けします。

メールマガジン
<http://www.tokyo-midtown.com/jp/mail/>

公式 Facebook ページ
 東京ミッドタウン / TOKYO MIDTOWN

【お問い合わせ】東京ミッドタウン・コールセンター
 ☎ 03-3475-3100 (受付時間 10:00~21:00)

Story_2

アスファルトに こぼれた青インク



Photos by Robert Campbell

光の
 コントラスト



こぼれる宝石



ニューヨークのホテル
 星がこぼれるように

日 本 本 秋の夕べは散歩に最適である。路地を歩くと突然草むらからこぼれるように虫の合唱が聞こえてくる。俳句では「虫の闇」という。不思議な言い方だが、確かに虫の音で闇がいつそう深く暗いものに感じられる。錯綜した感覚が季節となって、季節の瞬間をつかんでいる。白い光と夜の闇が入り交じり、競い合っている冬の夜空。仰向けに寝ていると自分の心拍だけがどくどくと聞こえ、ふだんとはまったく別の感覚器官で世界を感じ取ろうとする。真上には黒いヴェルヴェットが敷かれ、その上に宝石箱をひっくり返したように満天の星が冷たく暗い光を森に落とす。

此処は山と山との間、たゞ頭上に狭い天を見るばかり。其空には星がこぼれる程出て、風も吹かなくなった。眠の就けばいつしか夢路に入つて、前後を知らなかったが、一時間も経たぬ間に、寒気身を襲うて、夢も覚めた。

作者は日光女峰山の奥につらなる山々を歩いた後、野宿することにした。星が凍てつく空から頭上にこぼれてくるのを眺めながら眠りにつくが、寒さに堪えきれず、やがて目を覚ます。書いてはいないけれど、覚醒して直ぐに見上げた星にも「身を襲う」凄まじい力

が感じられたに違いない。この文章は、長谷川天溪という文士が一九〇一年の暮れに発表した「日光山の奥」からの一節である。こぼれることといえば、笑い声と涙がすぐに思い浮かぶけれど、夜空にかかっている星も天空のいわば大きな器から人々の上に「こぼれる」ものであった。今でも夜空から「こぼれている」という感覚は生きていると思う。暗々と光る星に漆黒の闇。反転させると地上を覆っている白い霜に、群青色のインクが一番しつくり来るのではないか。石川啄木の『一握の砂』(一九一〇年)には次の歌が入っている。

銀行の窓の下なる
 舗石の霜にこぼれし
 青インクかな

堅牢な銀行の前を固める冷たいアスファルトの上に霜が降り、その上をインクが不規則な形で汚点を作っている。とっさにインクをこぼしたのは誰だろう。融資の話がまとまらず失意のうちに銀行を後にした初老の男かもしれない。こぼれし、とあるからにはその人物が瓶を片手になにかの拍子で中身をこぼした、ということ、人間臭い事情を付度させる。白い霜との鮮やかなコントラストも、「漏れた」では間に合わず、これもやはり日本語の「こぼれる」力を借りてこそできる文学の世界がある。



ロバート キャンベル
 Robert Campbell

ニューヨーク市出身の日本文学研究者。江戸から明治時代の日本文学が専門で、特に19世紀の都市空間と人の心に強い関心を寄せている。また、文芸ジャンルを超えて、日本の文化、メディア、思想などにも造詣が深い。テレビでMCやニュース・コメンテーターなどを務める一方、新聞や雑誌の連載、書評、ラジオ番組出演など、さまざまなメディアで活躍中。愛猫の名はタ吉。